

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 遠藤 一郎

東京都港区新橋3-21-7 松本ビル

TEL 03-3434-1236

FAX 03-3433-0334

全国一般全国協

実現しなければならぬ大きな課題

飛躍する九五年を迎えて

全国一般労働組合全国協議会中央執行委員会

あけましておめでとございます

九四年が終わり新たな年、一九九五年が明けました。全国一般全国協は今年も様々な課題に全力で取り組み、結成五年目を大きく飛躍する年にしたいと思えます。

九五年の私たちが実現しなければならぬ大きな課題は、中小労働者の全国センターとして第一に九五春闘を、生活を守る立場から大幅賃上げ獲得のために奮



戦争責任追及・個人補償を求めて国会前でハンストする元「慰安婦」の人たち

闘すること、第二に首切り、合理化に苦しめられている仲間のために闘いぬくこと、

国鉄闘争をはじめとしたすべての争議に勝利すること、

そして第三に全国協二万人組織化を達成することです。また、今年「敗戦五十年」

の年にあたります。政府、資本の「戦争のできる国作り」策動に対決する大きな闘いを全労協の仲間、市民運動の仲間、護憲派議員の人々と作り出さなければなりません。

高度成長以降バブル全盛時代にかけて春闘は、連合に象徴される労使協調派によって年々形骸化させられ、春闘解体論がくすぶってききました。バブルの崩壊、長期不況、リストラ合理化、

産業の空洞化と続き、いま、日経連は「逆春闘＝賃金切下げ」のみならず、「二千万人失業が必要」と宣言し、労働者に攻勢をかけています。連合に結集する大企業

労組が軒なみ要求を低め、合理化を受入れて自己保身にのみ汲汲とする中で、私たちの九五春闘は、年金改悪、消費税5%アップ、公共料金の値上げが目白押し

の情勢で生活を守るためには、大幅賃上げを掲げ、格差是正を実現させる闘いを、ストライキを軸に闘わなければなりません。同時に、中小労働者、高齢者、臨時パート、外国人労働者に対する集中的な首切り攻撃がさらに拍車がかかろうとしています。昨年に増して全

国で労働相談などを強化し、組織の拡大を実現していかなければなりません。

今年「敗戦五十年」の年でもあります。この二年間に四人も首相が代り、政治状況は表面的には混乱しながらも、政府資本が進めようとする道筋は、福祉の切り捨てと自衛隊の海外派兵の常態化、国連安保常任理事国入り、改憲論議の公然化等きわめて危険な方向になってきています。アジアの人々からの「戦争責任の追及、戦後補償」の要求をぎまみ的に処理し、その糾弾さえも、戦後は終わつたとするキャンペーンにすり替えようとしています。

私たちはこの「敗戦五十年」を私たちの平和運動、労働運動総括の契機としながら、政府の策動を決して許さない闘いとすることが必要です。今年選挙の年でもあります。護憲、平和、環境を掲げる人々とともに大きな運動を作り出しましょう。

九五春闘は大幅賃上げ／格差是正

「敗戦50年」を民衆の闘いで!!

敗戦50年 反戦平和・国際連帯を課題として

戦争責任・戦後補償を 労働運動の取り組みにしよう

敗戦五十年の節目、九五
年の幕が明けた。日本帝国
主義の侵略戦争は、植民地
支配、掠奪、強制連行、従
軍慰安婦、住民・捕虜の虐
殺・虐待など深刻な戦争犯
罪の惨禍をアジア各国にま
き散らし、いまなおその爪
跡を残し続けている。もし
て、冷戦構造の重しによっ
て圧殺されてきた戦争犯罪
追及の声は、いまそのくび
きを解かれ民衆の叫びとなっ
て噴出している。

戦争犯罪は勝者も敗者も
なく、重大な人権侵害、人
道に対する罪である。各国
は時効不適用条約を結び、
その追及の手をゆるめるこ
となく処罰を求め続けている
。しかし、日本には戦争
犯罪処罰の法律が存在せず
、法的救済の道が閉ざされ多
くのアジア民衆の告訴が門
前払いされてきた。

その原因は、日本が冷戦
構造に隠れ戦後一貫して国
家として戦争責任の承認を
回避してきたことにある。
日本帝国主義の侵略の結果
が戦争犯罪であり処罰する
義務、賠償する義務がある
こと承認しないままであれ
ばアジアをはじめ世界各国
民衆との真の連帯友好は築
かれない。敗戦五十年の転
換点にたつて民衆の真の国
際化と連帯を求める時、戦
争責任、戦争犯罪の問題は
避けては通れないし、善意
の救済に頼り押しつけて済
むものではない。

昨年来「開発と女性に関
する第二回アジア太平洋閣
僚会議」(国連)「国際法律
家委員会」(NGO)など
様々な国際機関で従軍慰安
婦問題を「政府として処罰
と賠償をおこなう」よう勧
告、決議がなされるなど国

際世論が盛り上がっている。
しかし、日本政府はこれを
無視し「民間基金構想」を
だすなど問題回避に躍起と
なっている。戦争責任の解
決をつうじて真の国際連帯
をつくり出さなければ日本
への糾弾批判の声はますます

アジアキャンベイン全国各地で集会

反派兵・日本の国連常任理事国入り反対

九四年、軍靴の足音が一
段と強まってきました。そ
れに対し各地の労働運動、
市民運動から反対の声があ
がってきています。私たち
全国一般全国協も、全労協
の仲間とともに、海外派兵
の仲間とともに、海外派兵
憲法改悪、消費税アップ、
小選挙区制に反対し、また、
フィリピン、インドネシア
などアジアの労働者とともに
に、日米軍事同盟・自衛隊
海外派兵に反対するアジア
キャンペーンを行なってい
ました。六月行動に続いて、

す高まるに違いない。
冷戦崩壊・世界単一市場
の広がりによる資本の世界
大の競争・収奪が強まって
いる今こそ、戦争責任、戦
後補償は、反戦平和、国際
連帯の課題として労働組合
が正面から取り組む課題で
あろう。

戦争責任・戦争犯罪を追
及する様々な市民運動と連
帯して、九五年を労働運動
からの取り組みを強めてい
く出発の年としよう。

二十名のアジア人民連帯
集会を行ないました。
十一月二五日では、全国
一般全国協倉田副委員長が、
労組が発言できなくなる政
治の流れに抗して、社会の
根源の問題について考え行
動することを訴えた主催者
あいさつを行ないました。
また、講師の林茂夫さんは
日本の常任理事国入りを批
判し、金英姫さんは、村山
政権の民間基金構想撤回を
求め、国家の謝罪と責任、
個人補償による戦後補償が
第一歩であることを鮮明に
しました。十二月八日の集
会では、小峰雄蔵さんの代
表あいさつに続き、内田雅
敏さんが講演で、戦争責任

追及・天皇制との対峙・ア
ジア人民との連帯を怠った
戦後平和運動の怠慢と、そ
の克服を訴えました。また
韓統連代表は、この百年何
も変っていない日本を糾弾
し、東水労青年女性部長は
賃金闘争・反合闘争と反戦・
人権の闘いとを結合を表明、
そして最後に、全国協中岡
委員長が、今年一敗戦五十
年の中で戦争責任の明確化
と、日本の再侵略一常任理
事国入りに反対する国際会
議、および戦後補償の意見
広告を提起しました。

全国協は九五年も団結し
て反戦平和闘争を闘いましょ
う。



▲ 12・8 アジア共同行動防衛庁前デモ

12・5 外国人労働者交流パーティ 10数ヶ国 80名が参加

『外国人労働者権利白書』出版に先がけて

東京権利春闘と外国人労働運動を担う五団体の主催による「連帯・外国人労働者交流パーティ」が、十二月五日、東京勤労福祉会館で行なわれた。

このパーティは全国一般東京南部、全統一労組、東京労組FLU、神奈川シティユニオン、東京東部労職センターの五団体が今春『外国人労働者権利白書』を出版するのに先立って開かれたもので、『権利白書』は

五団体が受けた外国人労働相談や闘いの経験をもとに日本における外国人労働者のおかれた状況の実態と分析から今後の外国人労働運動の方向性と日本の労働組合のあり方を考えようというもの。

パーティでは、『権利白書』の出版を広く知らしめるとともに、各団体の外国人組合員の手作りによる「各国味自慢」と銘うったごちそうが用意され、また



▲ これから日本人も歌います！

「各国歌自慢」として、各組合員の歌自慢たちがそののどを披露した。なかでも、神奈川シティユニオンのフィリピン労働者たちのクリスマスソング・コーラスは圧巻だった。参加者の国籍は十数ヶ国、八十名。それぞれ楽しいひとときを過ぎたインターナショナル・パーティだった。

闘いの現場から

不当解雇撤回！ 工場再開 勝ちとろう！

京バン労組（京都）

私たち京バン労組は、昨年二月一日組合を結成したのですが、組合を嫌った社長は、翌日から仕事をさせず会社をたたむという暴挙にでました。それ以来工場占拠を中心に、社長宅抗議行動と地労委での取り組みをしてきました。早いもので工場に泊り込んで八ヶ月

友誼組合紹介

全国の仲間のみなさん、こんにちは！北海道で国労以外では唯一全労協に加盟している地域合同労組です。結成して七年目。

争議支援を中心に

労働相談・職場活動を展開中！

札幌圏連帯労働組合

で、現在は堀井（札幌スキー労組）、小形（市の組合）、山下（元東京東部労組）などが中心になって活動しています。組合の事務所は印刷屋の三階の屋根裏に、この人たちが素人大工でつくった。女性役員も加わり雰囲気がよくまりました。今まで、職場活動の他に労働相談、地域の市民活動家との交流連帯、国鉄闘争、漁業公社労組、昭和シェル労組、トキワ製作所労組（函館）などの争議支援をしてきました。札幌スキーの和議倒産争議の決着以後、なかなか闘いの軸がなく大

ら、結成当初から来る日も来る日も札幌スキー闘争の戦術会議の連続でした。組合の構成は、民間、官公労、市民活動家と同じ割合です。初代の委員長は京南支部出身の家田さん

が過ぎようとしています。今後も解決の日がくるまで社長には工場を渡さない決意です。二四時間組合が工場を守る体制を続ける方針でいます。

七月から社長宅自宅へ申入れ抗議行動を週一回行なっています。大橋一族は団交要求には全く応えることなく、のうのうと暮らしています。悪徳社長一族の実態

りました。特別執行委員長に山田順三さん、顧問に北海道在日韓青同のイム委員長がなっており、多彩な顔ぶれです。でもやっていることは、執行委員の性格を反映してか地味です。昨年

を地域に訴えながら今後も取り組もうと考えています。地労委闘争も二回ほど社長が交通事故を理由に延期されたものの、社長への反対尋問が始まり、数々の不当労働行為が暴かれはじめ

ています。これらの闘いは洛南労組連をはじめ多くの闘う仲間

の支援に支えられて今日までできました。地域で闘う仲

間とはありがたいものです。私たちは生活を守り工場を確保するために自活体制を築くために物販販売をこの秋から取り組みはじめました。正義はわれわれにあります。食いつなげたら絶対に勝てる争議だと思えます。

今後ともご支援をお願いします。

（寄稿）

筑豊自動車学校との交流会

94.11.20 ~ 21

宮城合同労組 自動車教習所部会

—— 作並温泉で大交流 ——

宮城合同労組自動車教習所部会では、九州福岡県の筑豊自動車学校の五人の仲間を、仙台の奥座敷と言われる作並温泉に迎え、十一月二十日・二十一日と二日間 にわたり交流会を行ないました。賃金体系・労働条件、あるいはさまざまな要求獲得時の戦術・苦労話など、あらゆる情報交換に、熱が入り花が咲き、時間の過ぎ行く早さを互いに嘆きながらの楽しい交流でした。

私たちの労働実態は、一日十時間から十一時間労働が常態化し、この過労死と背中合せの過酷な労働も、低賃金を補うためのものから、いつしか企業存続の擁護意識にすり替えられてしまった感が一段と強まってきました。ところが「教習のための時間外労働は年間を通じて一時間もなし、六十人からいる指導員の平均賃金が三二〜三万」と私たちが求め続けていた「残業なしで生活できる賃金」を筑豊自教の仲間が見事獲得していることを知り、「人間らしい労働と生活の確立」がわれわれにも夢ではない現実の要求として強く身近に感じさせ、教習所に時間外労働は不可欠条件ではな

二月に全国協春闘討論集会 多くの組合員の参加で成功させよう

産業空洞化の中で、大量失業攻撃・賃下げ圧力・ホワイトカラーにまで及ぶ裁量労働の枠の拡大など、資本の攻撃はやむところを知らず押し寄せてきている。職場に労働者の権利を根づかせ、資本の攻撃をはねのけ、賃上げをはじめ、労働条件を改善するための春闘の課題は山積みしている。また敗戦五十年を迎え、侵略戦争を美化する声が高まる中、戦争責任・戦後補償を追究し、反戦闘争・アジア人民との共同闘争をどう掘り起こしていくかも重要な課題である。

これらの諸課題に応えることをめざし、全国協では次の日程で、九五春闘討論集会を開催する。奮ってご参加ください。

なお、宿泊人数を確定するため、一月中に参加予定人員を本部まで報告してください。

いことの真実を目の当たりにしました。今回の交流会は私たちにとって今後の闘いの糧となる有意義なものでした。



▲ 作並温泉・岩松旅館で記念撮影
(岩松旅館は宮城合同の拠点支部のひとつです)

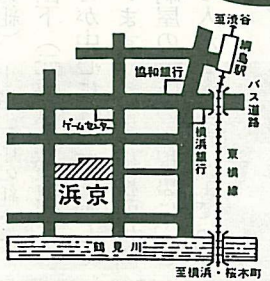
全国協中央春闘討論集会 (東ブロック)

時：2月11日(土) 13:00 ~ 12日(日) 12:00
所：横浜・浜京 (東急東横線綱島駅下車徒歩3分地図参照)

全国協西日本春闘討論集会

(全労協西日本春闘討論集会に合流)
時：2月18日(土) 13:00 ~ 19日(日) 12:00
所：福岡

案内図



横浜市港北区綱島西
2丁目5番4号
電話 045 (531) 7161~2

- 宮城合同労働組合**
記念集会とレセプション
九五年一月二二日(日)
十三時半~
- 不二工機労働組合**
記念式典とレセプション
九五年二月二五日(土)
十一時~
- 場所 宇都宮グランドホテル
- 場所 宮城県労働福祉会館